

地域の実情と課題

- 当市では、女性の雇用環境の改善に取り組む事業者の認定制度など、様々な産業分野で女性の活躍を推進する地域づくりに取り組んでいる。
- しかしながら、地域の多くの企業では人手不足を感じており、特に理工系分野では専門人材が不足している。
- 市内には高等教育機関や高い技術力を持つ企業が複数あるものの、知名度や認知度が低く、地域で学んだ若い人材の地域外流出が課題である。

事業の特徴

- 中学生や高校生が高い技術力を持って事業展開をしている地域の企業や大学を訪問し、技術開発や生産の現場、研究内容を体験するとともに、従業員や大学生との交流を図った。
- 企業体験では食品製造業、機械系ものづくり企業、大学研究体験では理工学部、農学生命科学部に協力をいただき、単なる見学にとどまらず、事業の一端を体験することを重視したプログラムとして実施した。
- 企業で活躍する従業員や大学生との交流をとおして、中高生が将来について考えることができる機会となった。

事業の効果

- 参加者は39名（女子生徒31名、男子生徒8名）
- 参加した中学生や高校生の事業満足度 100%
- 実際に体験した事業内容や研究内容について理解を深めている様子が見られ、従業員や大学生との交流をとおし具体的に大学での生活や職場でのイメージを持ち、進路選択の参考としていた。
- 参加企業・大学にとっても、知名度や認知度の向上につながったほか、業務内容や働き方などを見直す機会となった。

目的・目標

- 進路選択の岐路にある中学生や高校生が、理工系分野をはじめ、地域の中で様々な分野で性別にかかわらず活躍できる将来像をイメージし、若年層の地元定着率を向上させることで、地域の持続的な発展を図る。
 - 地域の企業にとって、自社の事業や技術を知ってもらうことで、将来的な人材の確保にもつなげる。
- ◇ 参加者 39名(目標 60名)、事業満足度 100%(目標 100%)

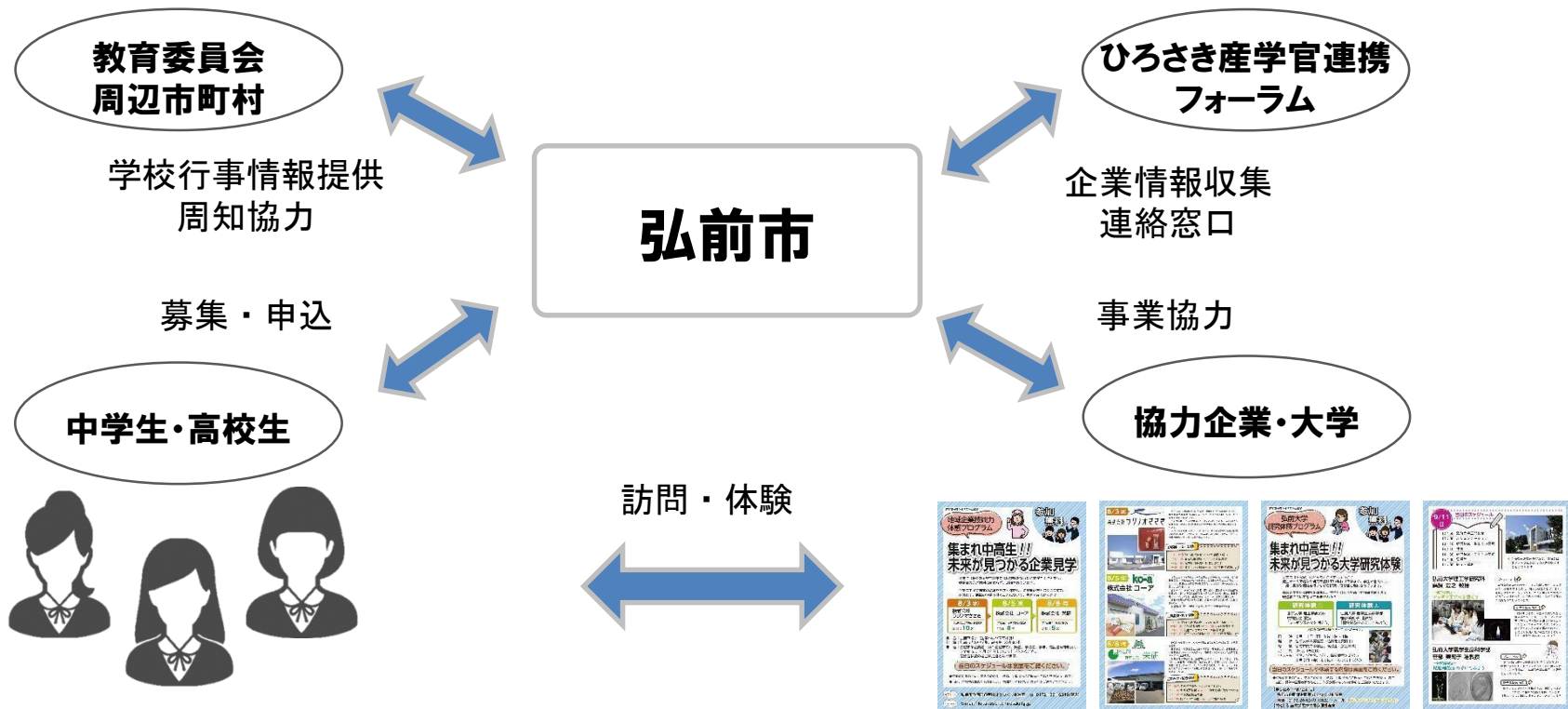
連携団体

- ひろさき産学官連携フォーラム
行政、大学、企業等で構成する連携体であり、受入先となる企業情報の収集や意見交換、企業への連絡等で協力いただいた。
- 教育委員会、周辺市町村
対象となる生徒の募集に当たって、学校行事等の情報提供や学校、公共施設等での周知に協力いただいた。

今後の課題

- 企業や事業内容について、学校や保護者へ理解促進を図る機会の創出
- 地元企業への理解促進を図ることを目的とした他事業との差別化を図った、より効果的な周知

事業の概要



- 事業満足度100%
- 理工系分野への興味の高まり

- 知名度、認知度の向上
- 協力企業・大学への好影響



株式会社ラグノオささき
細菌数調べ



株式会社コア
抗菌メッキ工場見学



株式会社栄研
食品衛生管理体験



弘前大学
オリエンテーション



理工学研究科
「シャボン玉で火を消そう」



農学生命科学部
「植物細胞をのぞいてみよう」